



1月の保健目標

かぜを予防しよう

感染症や胃腸炎に気を付けましょう

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症は、学校では今のところ流行はしていませんが、再び流行する可能性が高いので注意が必要です。現在、体調不良で欠席している人は、腹痛・嘔吐などの胃腸炎のような症状が多いです。感染性胃腸炎の場合、一気に広まることが多いので、感染症予防の徹底と、正しい吐物処理の方法を知っておきましょう。

保健室からの

お知らせ

インフルエンザと新型コロナウイルスの特徴をまとめました。登校する際には、どちらも書類の提出が必要です。HP からダウンロードしていただきご記入ください。ダウンロードできない場合は、学校から用紙をお渡ししますのでご相談ください。

	新型コロナウイルス	インフルエンザ
症状	発熱、咳、倦怠感	高熱、鼻水、倦怠感
感染経路	飛沫	飛沫、接触
潜伏期間	約2～3日間 ※株によって変化する	1～2日間
出席停止期間	発症後5日間経過しかつ 症状軽快から1日を経過するまで	発症後5日間が経過し、かつ 解熱後2日を経過するまで

1月の予定

3学期の計測を実施しています。結果は緑のファイル（健康ファイル）に入れてお渡しします。中身はご家庭で保管し、ファイルのみ学校に提出をお願いします。

お子さまが感染性胃腸炎になったら



感

感染性胃腸炎は、ノロウイルス

などのウイルスや細菌に感染して、
腹痛や下痢、嘔吐、発熱などの症状

が出ます。嘔吐や下痢の場合は、こまめな水分補給をして、脱水症状に気を付けてください。

また、吐物や便にはウイルスなどが含まれています。家庭内で広げないために、適切な処理と処理後の手洗い・うがいが必要です。

汚物の処理法

- 使い捨てのマスクや手袋を着用します
- 汚れた衣服は100倍に薄めた塩素系漂白剤に5～10分浸し、消毒します。
色落ちが気になるものは85℃以上のお湯に2分以上浸します
- 汚れた場所もしっかり消毒します

